
すべてはその一言から始まった。

山羊ノ宮

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

すべてはその一言から始まった。

【Nコード】

N5587P

【作者名】

山羊ノ宮

【あらすじ】

確かに私は世情には疎いのかもしれない。

それでもその事実を知った時、私は驚きを隠せないでいた。

その事実とは……

確かに私は世情には疎いのかも知れない。

それでもその事実を知った時、私は驚きを隠せなかった。

その事実とは・・・

どうにも巷では多夫一婦制が広く浸透しているようなのだ。

・・・いや、嘘ではない。

信じられないだろうが、本当なのだ。

確かに物書きと言うのは嘘をつくものであるが、これは真実なのだ。

何を隠そう、一番信じられなかったのは、この私なのだ。

百歩譲って、一夫多妻制なら納得もできよう。

なぜなら自然界において、ハーレムを作る事はそれほど珍しい事ではないからだ。

オス同士が競い合い、その勝者がメスたちと交配することによって、より強い種を後世に残すことができる。

人間がカエルの様に卵を産むと言うのなら、逆でも構わないだろう。

しかし、人間は哺乳類なのだ。

今現在、一夫一婦制が主流ではあるが、かつては人間も一夫多妻制が普通に存在していた時代もあった。

これは私の偏見ではあるが、一夫多妻と言うのは金持ちや権力者に多くあるように思える。

昔の人は浮気しても良いなんて、うらやましいなあと思っただろうか。

だが、そんな簡単な話でもないのだ。

乗りかえるのではない、増えるのだから、その分養うための金が必要となるのだ。

今の日本に家から何まで用意できて、死ぬまで面倒みてやんよ、と口に出る人間がどれほどいるだろうか。

ただでさえ今のご時世、共働きも珍しくも無い。

女性の自立、確かにそれもあるだろうが、夫の稼ぎだけでは生活できないという理由の方が、多いのではないだろうか。

ここまで類推するに、今の日本において多夫一婦制が広まりつつあると言うのは、つまり一人の女性を養うのに多くの男性が必要になっっているのではないかと言う事である。

すなわち男性の経済力、もしくは他の人間性的な力、の不足から生じた現象ではなからうか。

この推論を裏付けるように、多くの夫が妻のグッズを買っていた現象がみられた。

また、夫は誰が自分の妻かを自己主張する傾向があるように見える。もしかしたらこの現象は私が思っているよりも深い問題なのかもしれない。

引き続き、調べる必要があるようだ。

以上、友人の「クラエスは俺の嫁」発言を受けての考察でした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5587p/>

すべてはその一言から始まった。

2010年12月18日14時44分発行